

2016年3月期
第2四半期決算説明会

2015年11月26日

 大豊工業株式会社

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

目次

1. 2016年3月期 第2四半期実績
2. 2016年3月期 通期業績予想
3. 将来への取り組み

はじめに

当社の持続的成長に向けた活動に知恵を絞り、精一杯努力してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株主、投資家の皆さまとの対話を大切にしたい誠実な情報開示に努めてまいります。

代表取締役社長

杉原 功一

プロフィール

1980年 東京大学工学部航空学科卒業

トヨタ自動車工業(株) 入社

2009年 同社 常務役員、上郷工場長、下山工場長

2012年 同社 生産技術本部 副本部長

2013年 同社 ユニット生産技術領域長

2014年 当社 代表取締役副社長

2015年 当社 代表取締役社長就任 現在に至る

2016年3月期 第2四半期 決算の概況 <連結>

(百万円)

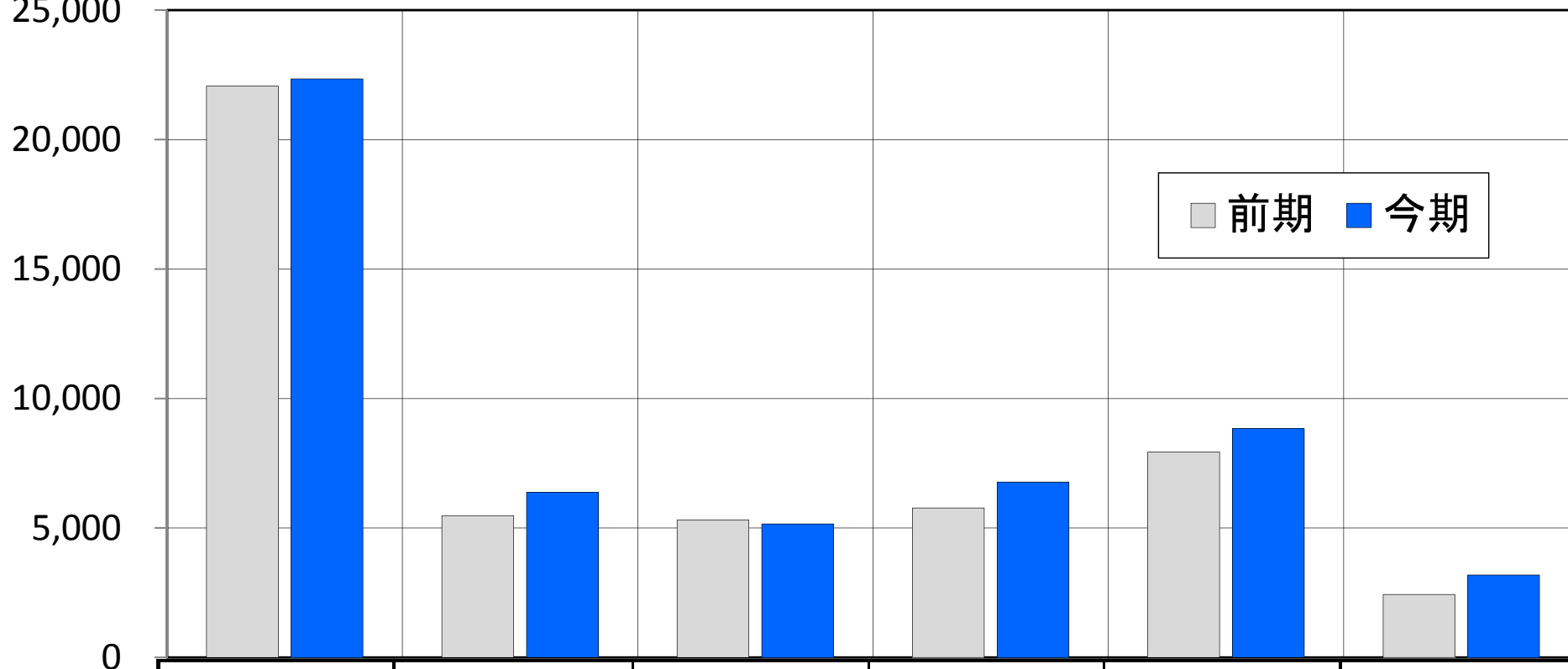
	2Q累計 前年同期実績比				2Q累計 当初公表値比		
	'16/3期 実績	'15/3期 実績	増減	増減率	'16/3期 当初公表値	増減	増減率
売上高	52,686	49,006	3,680	7.5%	53,500	△814	-1.5%
営業利益 (利益率)	※ 2,884 (5.5%)	2,260 (4.6%)	624	27.6%	3,100 (5.8%)	△216	-7.0%
経常利益 (利益率)	※ 2,846 (5.4%)	2,237 (4.6%)	608	27.2%	3,000 (5.6%)	△154	-5.1%
親会社株主に帰 属する 四半期純利益	※※ 1,660 (3.2%)	1,411 (2.9%)	249	17.7%	1,800 (3.4%)	△139	-7.8%
為替レート	120円/\$ 134円/€	103円/\$ 139円/€	—	—	115円/\$ 135円/€	—	—

※ 営業・経常利益は過去最高

※※ 中国子会社(WBM)の「のれん」を減損

2016年3月期 第2四半期 事業別売上高 <連結>

(百万円)

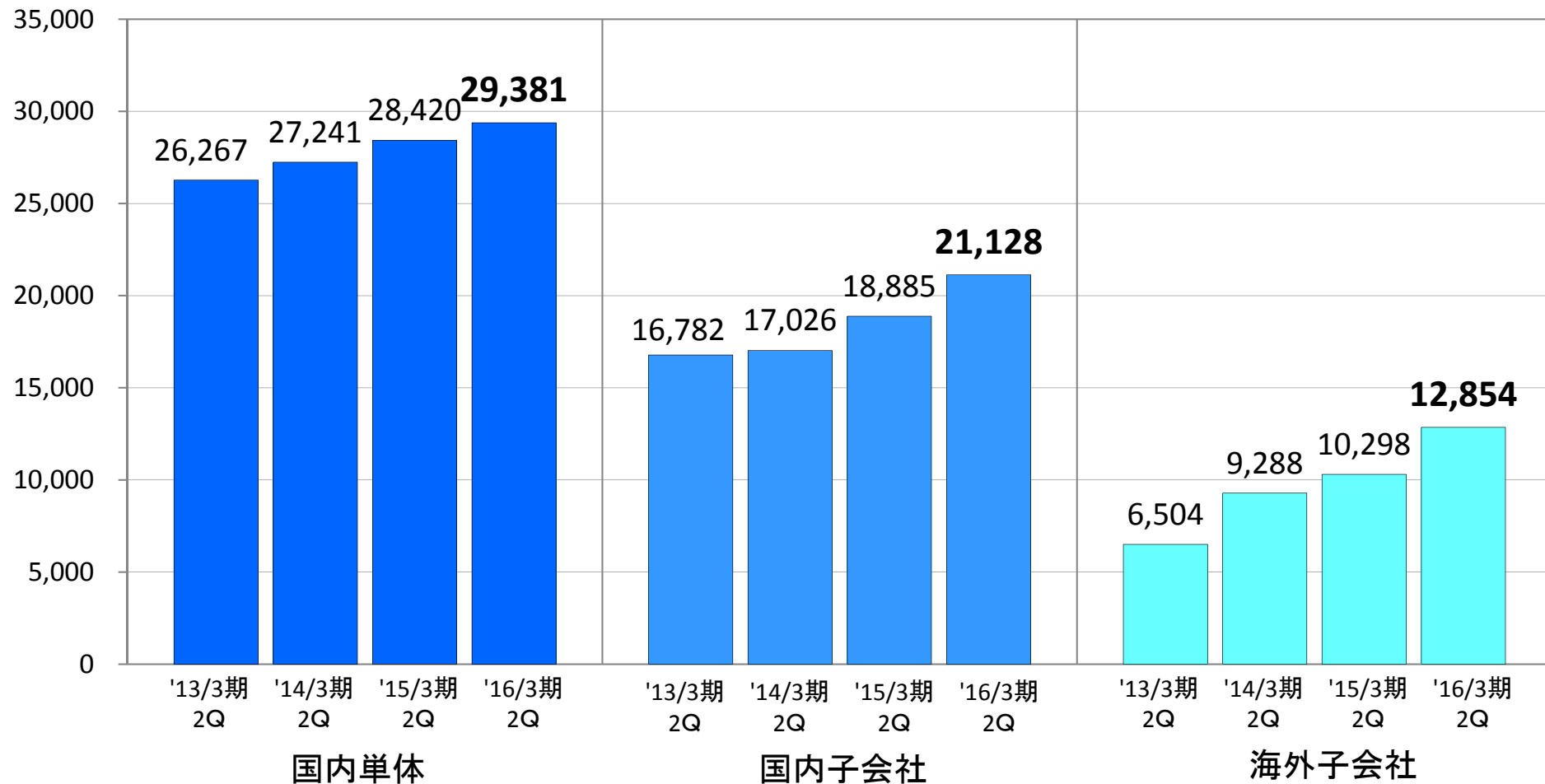


	軸受	システム製品	ダイカスト製品	ガスケット製品	設備・金型	その他
'15/3期2Q	22,067	5,481	5,310	5,777	7,937	2,434
'16/3期2Q	22,343	6,384	5,157	6,775	8,841	3,186
増減額	275	902	△153	997	904	752
増減率	1.2%	16.5%	-2.9%	17.3%	11.4	30.9%

国内外別売上高実績 <連結>

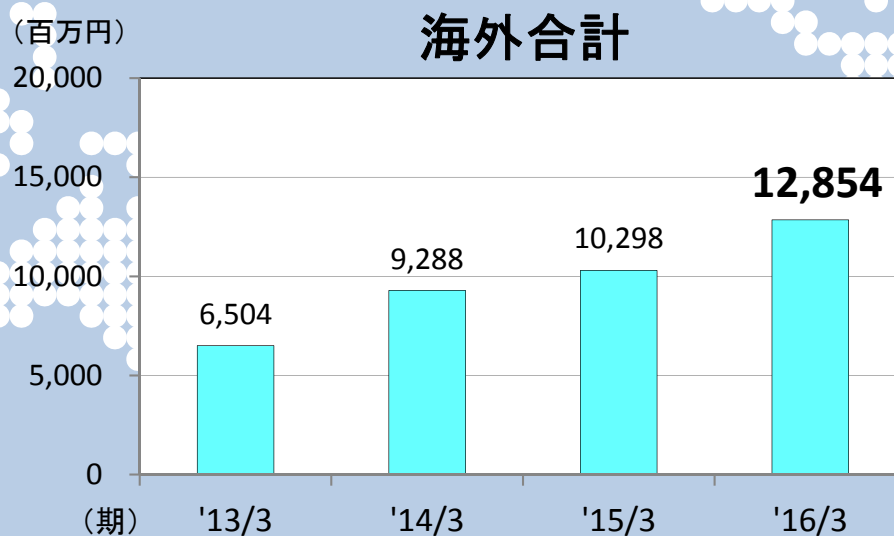
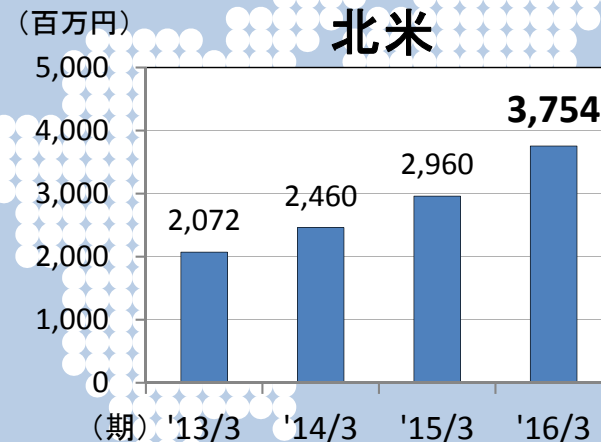
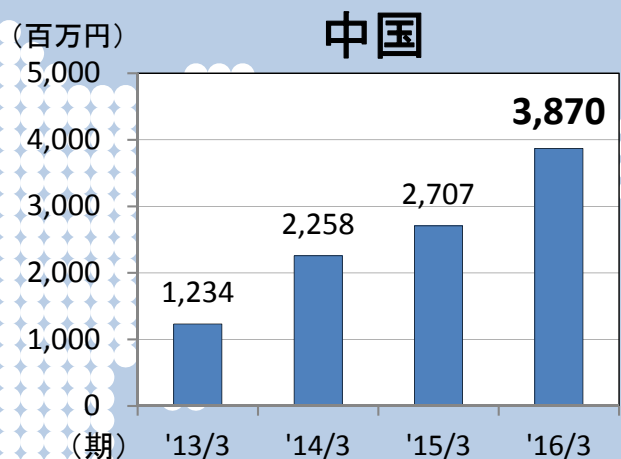
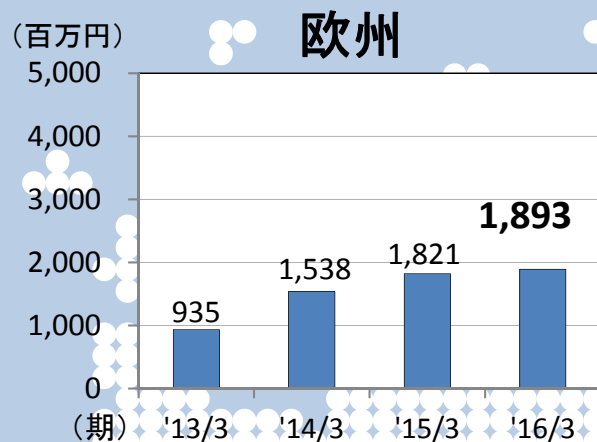
(百万円)

※連結消去前



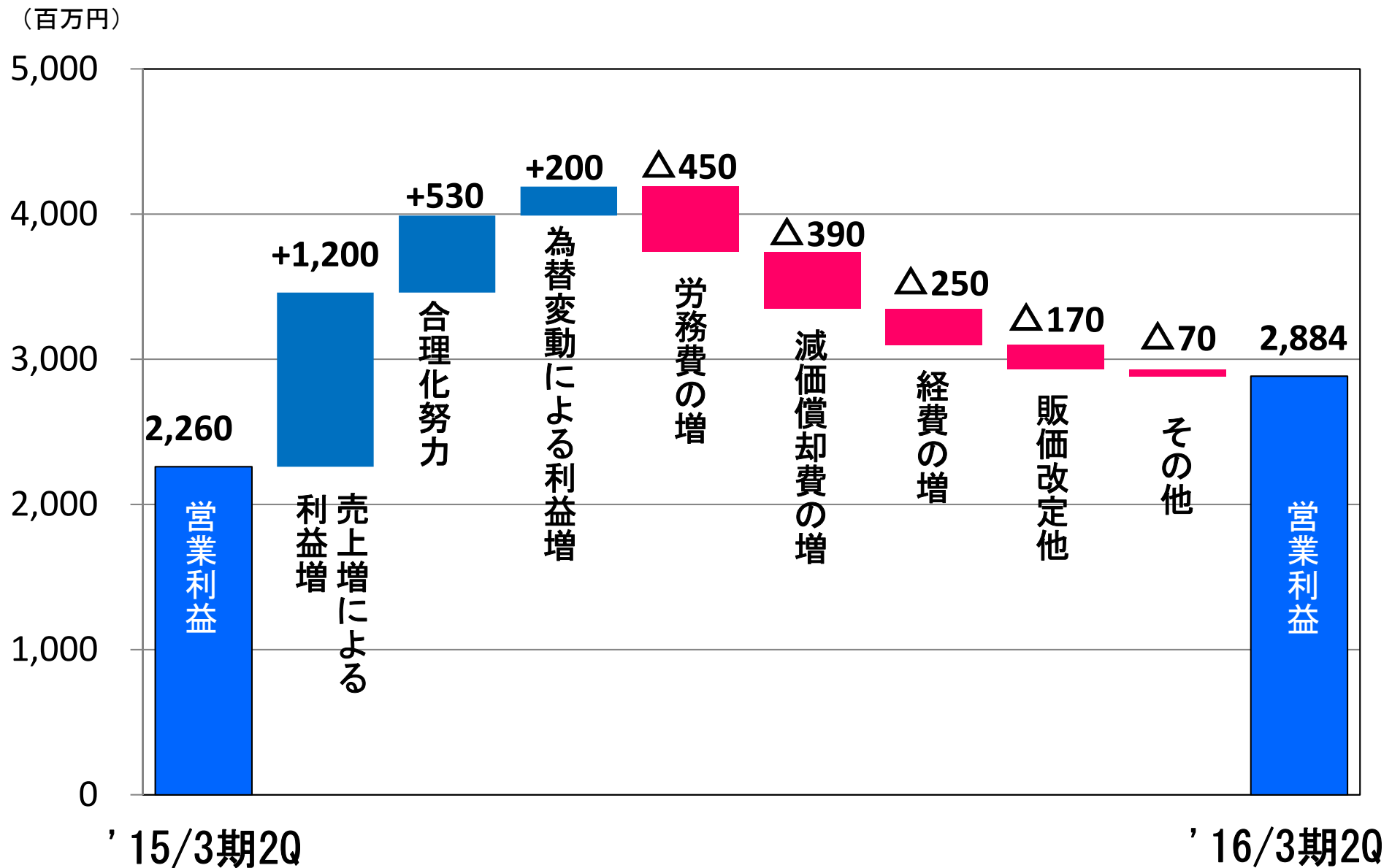
海外を中心に各地域で売上増

2016年3月期第2四半期 所在地別売上高 (連結消去前)



全地域で売上増 (前年同期実績比)

営業利益増減要因(前年同期比) <連結>



【2Q特別損失】中国子会社(WBM)の「のれん」減損について

中国の建機・大型トラック等のディーゼルエンジン市場が低迷

→ WBM当初事業計画の収益確保が困難に



“のれん”残高の減損処理(325百万円)を実施

＜常州恒業軸瓦材料有限公司(WBM)＞

2012年4月100%買収 当社初のアルミ軸受素材の海外生産を開始

住 所:江蘇省常州市新北区

設 立:1991年7月 (2012年4月 買収)

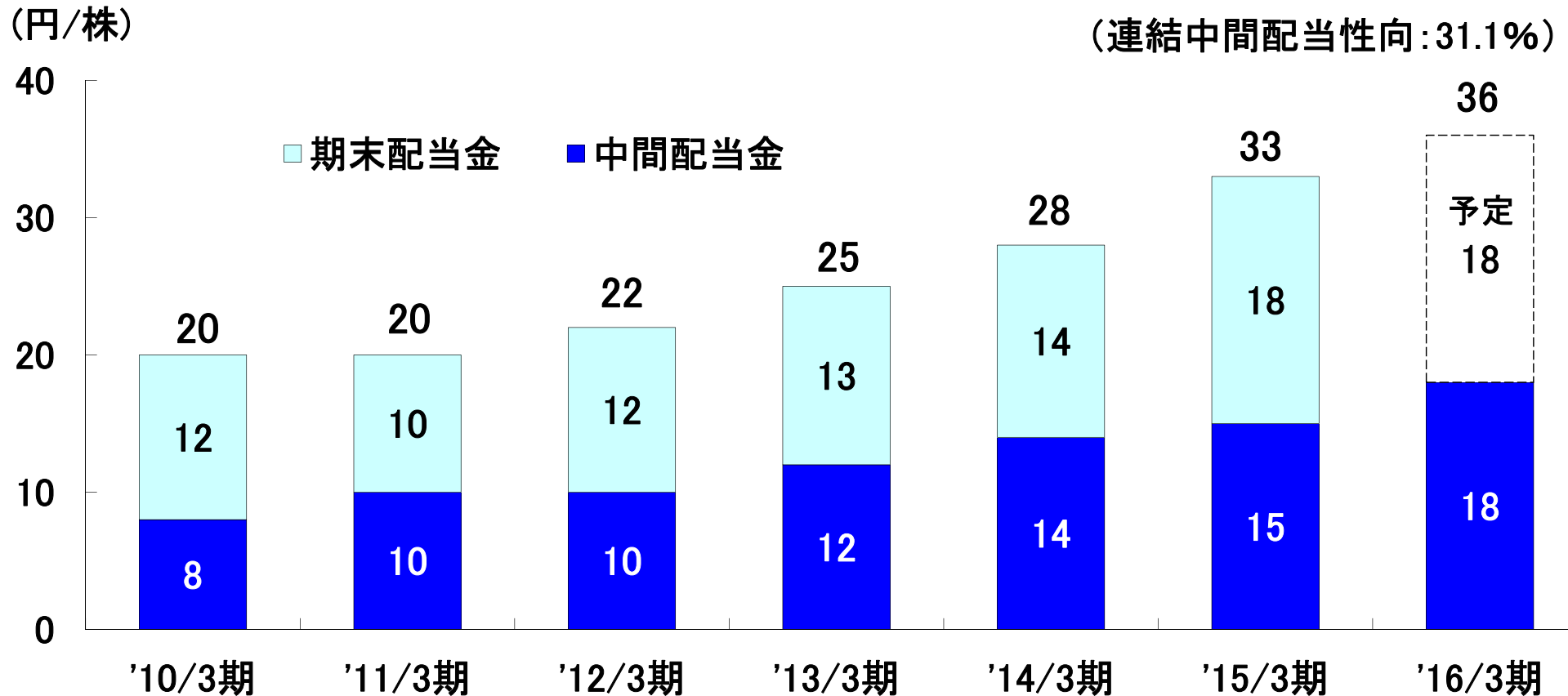
事業内容:エンジンベアリング用アルミ軸受
素材の製造、販売

売 上 高:9.9億円(2014年度実績)



株主還元

1 株当たり配当の推移



長期安定的な配当を実施し、連結配当性向30%を目指す

目次

1. 2016年3月期 第2四半期実績
2. 2016年3月期 通期業績予想
3. 将来への取り組み

2016年3月期 通期業績予想 <連結>

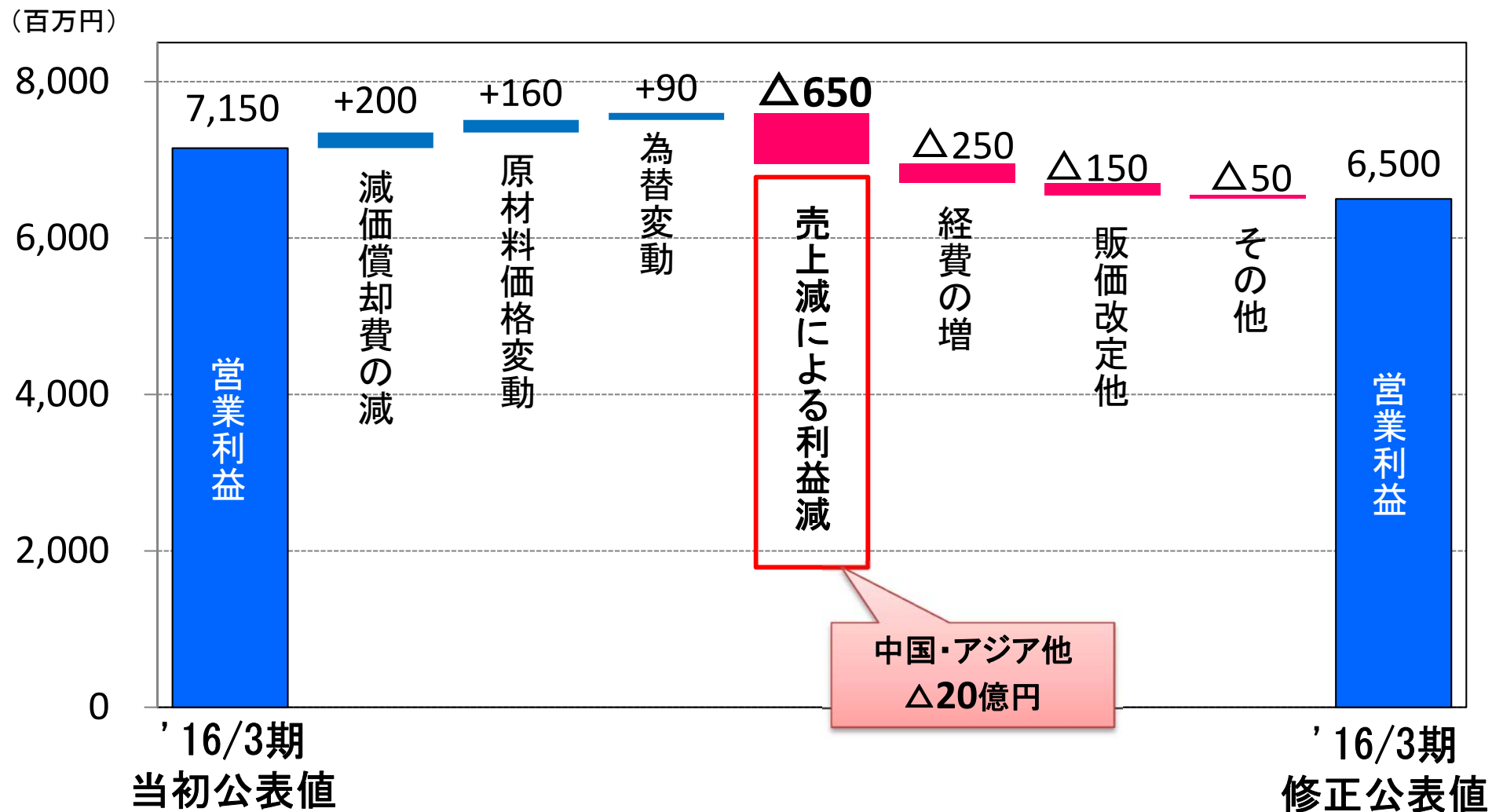
(百万円)

	通期予想 前期実績比				通期予想 当初公表値比		
	'16/3期 修正公表値	'15/3期 実績	増減	増減率	'16/3期 当初公表値	増減	増減率
売上高	108,000	98,221	9,779	10.0%	110,000	△2,000	△1.8%
営業利益 (利益率)	※ 6,500 (6.0%)	4,675 (4.8%)	1,825	39.0%	7,150 (6.5%)	△650	△9.1%
経常利益 (利益率)	※ 6,500 (6.0%)	4,973 (5.1%)	1,527	30.7%	6,600 (6.0%)	△100	△1.5%
親会社株主に帰 属する 四半期純利益	※※3,100 (2.9%)	3,194 (3.3%)	△94	△2.9%	4,200 (3.8%)	△1,100	△26.2%
為替レート	120円/\$ 132円/€	110円/\$ 135円/€	-	-	115円/\$ 139円/€	-	-

※ 営業・経常利益は過去最高

※※ 「愛鉄連厚生年金基金」の解散に関する諸費用(約10億円)

通期業績予想 営業利益増減要因 <連結>



中国、アジアの売上高減少が主な減益要因

【後半期特別損失】愛鉄連厚生年金基金の解散費用

<背景>

2013年6月 「公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法の一部を改正する法律」が成立

健全性が低い基金
は存続不可

当社加入の総合型「愛鉄連厚生年金基金」の解散決定
⇒解散手続きを実施中

特別損失として、解散に伴う諸費用
約10億円(概算値)を織り込み

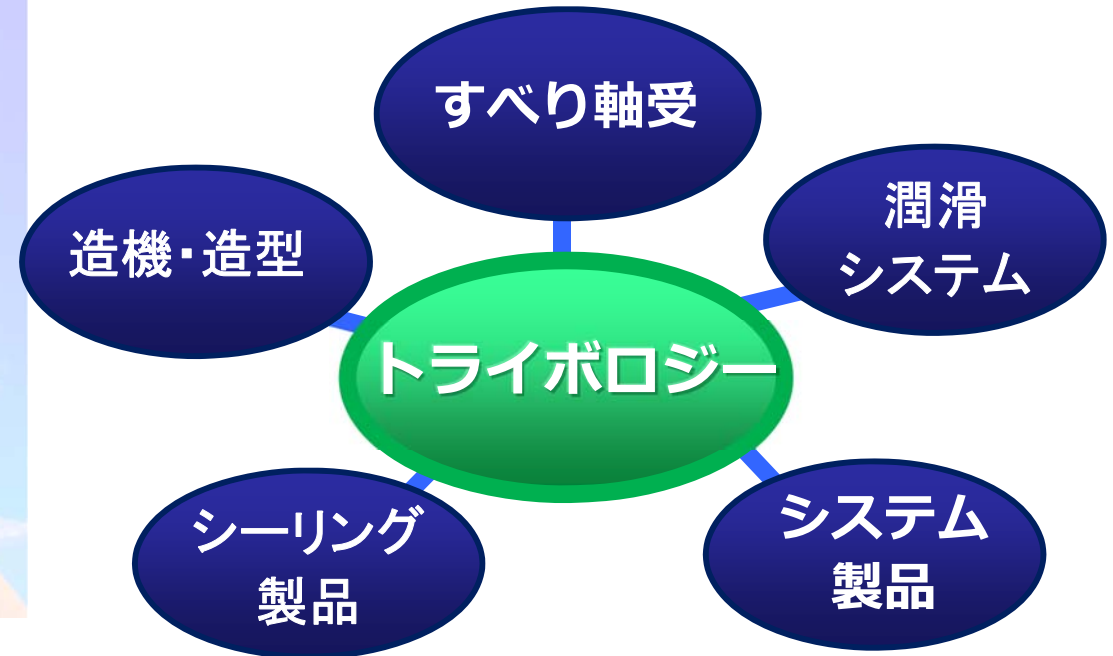
目次

1. 2016年3月期 第2四半期実績
2. 2016年3月期 通期業績予想
3. 将来への取り組み

すべり軸受No.1, 環境ブランド獲得

使命

大豊グループは
トライボロジーを基盤とした
製品とエンジニアリングをもって
社会に貢献する
(ステークホルダー・地球環境)



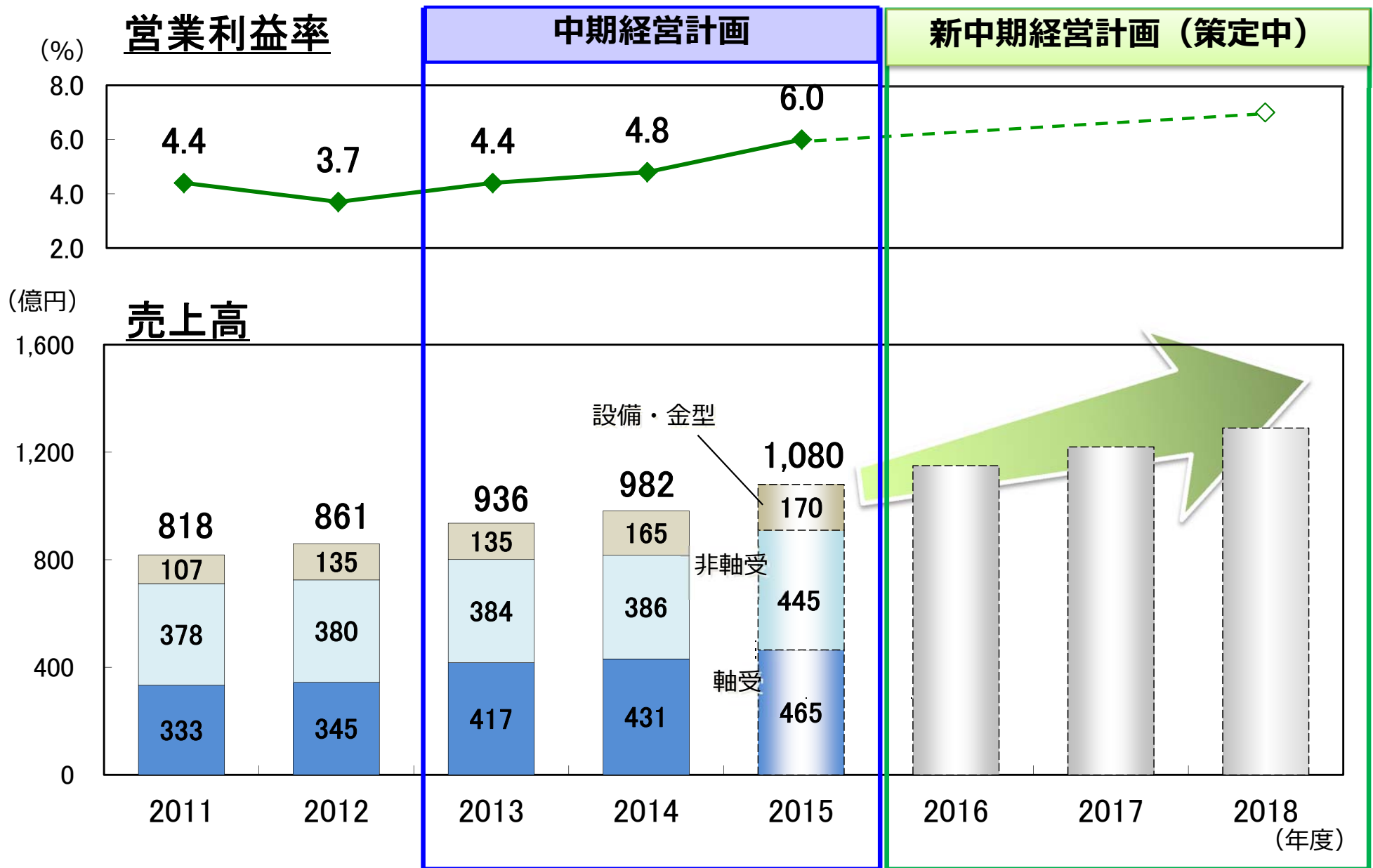
【中期経営方針】

～ 信頼されるグローバル企業を目指して～

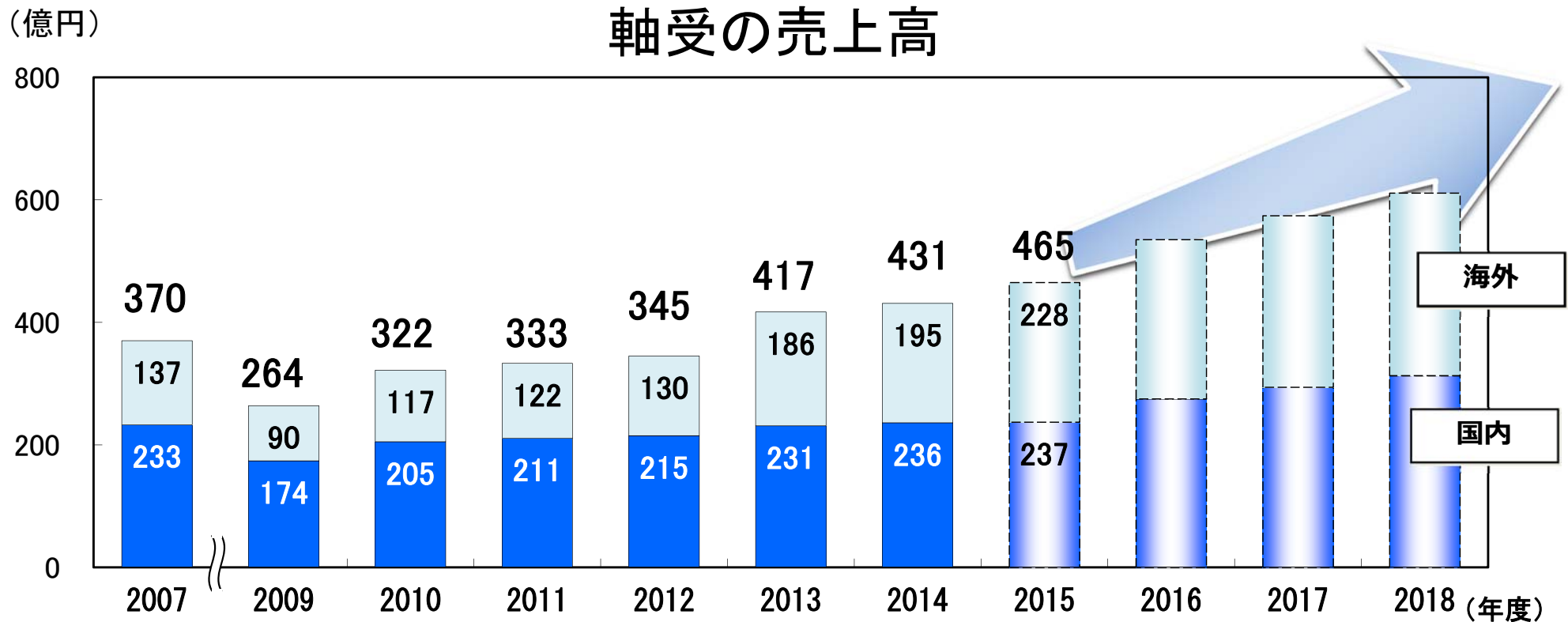
【活動の3軸】

- ① 製品・製造領域のグローバルな拡大
- ② 製品技術・生産技術の革新
- ③ 人財力の強化

中期経営計画と将来への取り組み



軸受事業のさらなる拡大に向けて ①



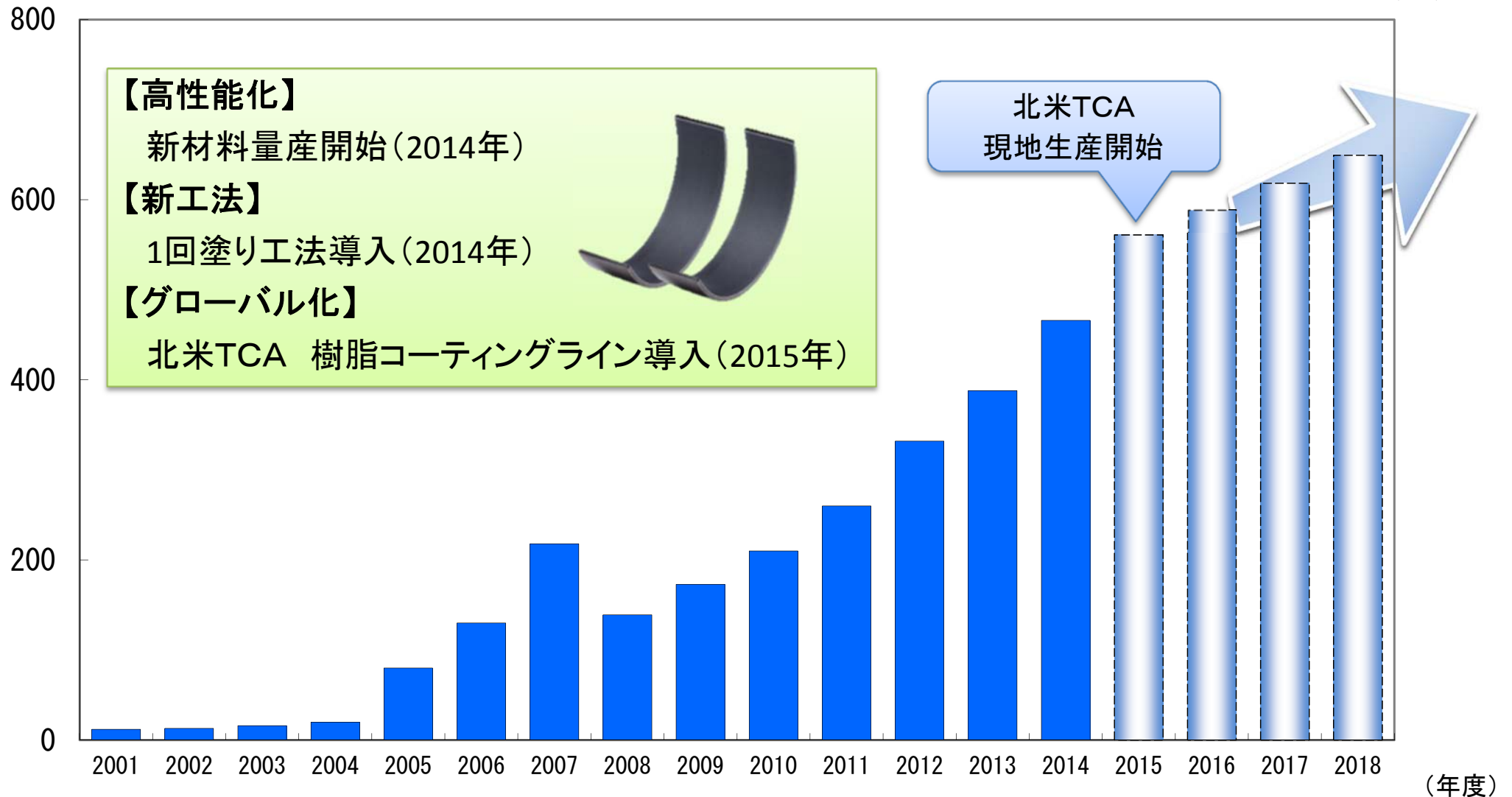
樹脂コーティング軸受で、海外顧客を中心に売上を拡大
エンジンベアリングの世界トップシェアをめざす

軸受事業のさらなる拡大に向けて ②

樹脂コーティングベアリングの拡大

(万個/月)

(%)



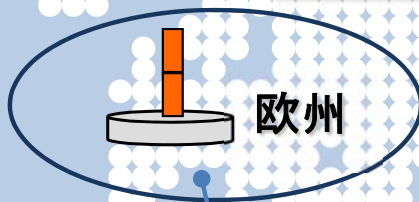
【納入顧客数】2001年:1社 → 2006年:3社 → 2010年:7社 → 2014年:9社

(年度)

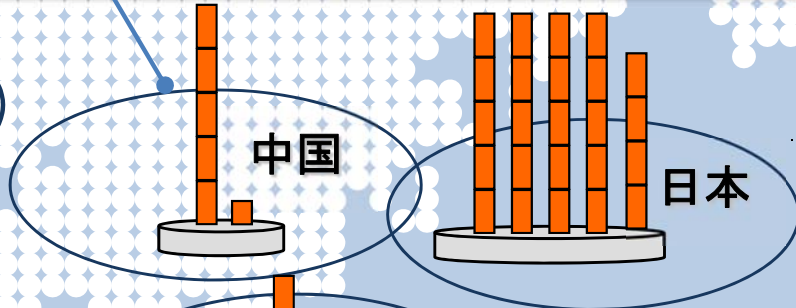
軸受事業のさらなる拡大に向けて ③

エンジンベアリング生産能力

■中国 (TCY、WBM)
WBM子会社化('12年)、
新工法ライン(RR)導入('15年)

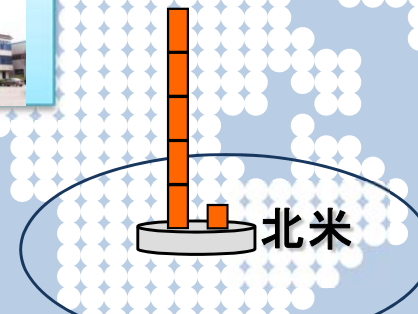


欧州



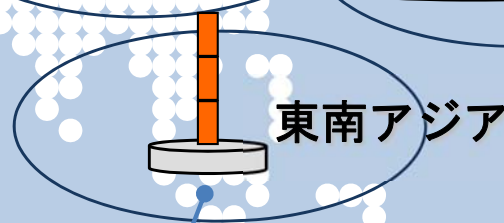
中国

日本



北米

■欧州 (TCE)



東南アジア

■北米 (TCA)

工場拡張、
樹脂コーティングライン導入('15年)



■東南アジア (PTN)

工場拡張、
新工法ライン(RR)導入('15年)

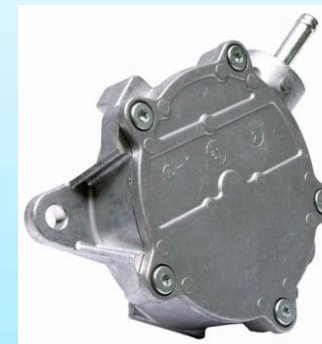


グローバル生産能力 4,000万個/月(2015年度)を構築
さらにシェア拡大のため能力拡大を計画中

非軸受事業のさらなる拡大に向けて

システム製品（大豊工業）

- ①タイ新工場でIMV用ディーゼルエンジン(GD)向けのバキュームポンプを現地生産開始(2015/4~)
- ②米国工場でバキュームポンプの生産準備開始(2017年予定) ⇒世界最適生産体制を構築



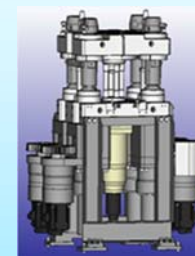
ガスケット製品（日本ガスケット）

- ①タイでIMV用ディーゼルエンジン向けガスケットを生産開始
- ②トヨタ以外の日系メーカーへ拡販強化



設備・金型（大豊精機）

- ①サーボ成形機(トヨタ技術開発賞 受賞)を核として設備・金型一体のラインづくりで提案力強化



サーボ成形機

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせ先

大豊工業株式会社 総務人事部広報グループ
TEL 0565-28-2225(代表)